

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		有害鳥獣捕獲事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	040104000865
政策体系上の位置付け				単独/補助	補助	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401	農林業の振興				農林課
	政策名	04	活力ある産業のまちづくり			課長名	
	施策名	01	農林業の振興			グループ	農政G
	手段名	04	④農村環境の保全			担当者名	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	06	02	01	03	00	有害鳥獣対策事業
法令根拠	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			単年度繰返し（平成17年度～） ↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	茨城県猟友会桜川支部の協力のもと、桜川市有害鳥獣捕獲隊を結成している。銃器とわなによるイノシシ捕獲を実施することにより、農作物被害の減少を図る。また、平成26年度より狩猟期間中のイノシシ捕獲に対しても捕獲報償費を支給することで、更なるイノシシ捕獲を推進する。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	- 有害鳥獣捕獲許可申請 - 捕獲許可の決定 - 住民や関係機関、周辺市町への周知事務 - 捕獲実施の補助(事務手続きなど) - 県への結果報告 - 需用費や報償費など捕獲に係る費用の支払い - 被害場所の現地確認 - 有害鳥獣対策室職員の報酬等支払に関する事務 - 狩猟期間中のイノシシ捕獲

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	
- 有害鳥獣捕獲許可申請 - 捕獲許可の決定 - 住民や関係機関、周辺市町への周知事務 - 捕獲実施の補助(事務手続き等) - 県への結果報告 - 被害場所の現地確認 - 有害鳥獣対策室職員の報酬等支払に関する事務		市内農地面積	ha	4,140.00	4,140.00	4,140.00	4,140.00	4,140.00	
		農家数	戸	2,975.00	2,975.00	2,975.00	2,975.00	2,975.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	
有害捕獲や狩猟期間中のイノシシ捕獲報償費の支給を実施することで、農作物に被害を及ぼすイノシシを捕獲する。		有害捕獲実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		有害捕獲期間中のイノシシ捕獲数	頭	258.00	349.00	600.00	600.00	600.00	
		狩猟期間中のイノシシ捕獲数	頭	323.00	480.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	
イノシシによる農作物被害を軽減させる。		農作物被害面積	ha	5.91	5.80	5.73	5.73	5.73	
		農作物被害金額	千円	5,449.00	5,400.00	5,449.00	5,449.00	5,449.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
			県支出金	千円	19,686	22,706	23,500			
			地方債	千円	0	0	0			
			使用料・手数料	千円	0	0	0			
			その他	千円	1,649	2,633	3,291			
			一般財源	千円	15,844	19,006	35,459			
			事業費計（A）	千円	37,179	44,345	62,250			
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人				
事業費の内訳	05年度事業費 実績（千円）					06年度事業費 予算（千円）				
	01 報酬	2,284				01 報酬	2,564			
	03 職員手当等	379				03 職員手当等	892			
	07 報償費	11,996				07 報償費	26,400			
	08 旅費	86				08 旅費	87			
	10 需用費	1,494				10 需用費	1,500			
	11 役務費	10				11 役務費	11			
	12 委託料	8,113				12 委託料	9,180			
	17 備品購入費	203				14 工事請負費	1,650			
	18 負担金補助及び交付金	19,780				17 備品購入費	200			
				合 計	44,345	18 負担金補助及び交付金	19,766	合 計	62,250	

(4) 当該年度の実施内容		06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する		- 有害鳥獣捕獲許可申請 - 捕獲許可の決定 - 住民や関係機関、周辺市町への周知事務 - 捕獲実施の補助(事務手続きなど) - 県への結果報告 - 被害場所の現地確認 - 狩猟期間中のイノシシ捕獲	- 有害鳥獣捕獲許可申請 - 捕獲許可の決定 - 住民や関係機関、周辺市町への周知事務 - 捕獲実施の補助(事務手続きなど) - 県への結果報告 - 被害場所の現地確認 - 狩猟期間中のイノシシ捕獲	- 有害鳥獣捕獲許可申請 - 捕獲許可の決定 - 住民や関係機関、周辺市町への周知事務 - 捕獲実施の補助(事務手続きなど) - 県への結果報告 - 被害場所の現地確認 - 狩猟期間中のイノシシ捕獲

事務事業名	有害鳥獣捕獲事業	事務事業No.	40104000865	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
農作物をイノシシの被害から守るため、猟友会へ協力を依頼し、桜川市有害鳥獣捕獲隊を結成して有害捕獲を行うようになった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
全国的にイノシシによる農作物被害は出ているが、令和3年度については、原因は不明であるが捕獲頭数が前年度より減少している。猟友会および捕獲隊の協力もありイノシシ被害報告は少なくなってきたが、近年は猟友会会員の減少が進み、捕獲者の確保が今後の課題となっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	☒ 結びついている ☐ 結びついていない イノシシ捕獲を推進することで、農作物被害を減らすことが出来る。
有 効 性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	☒ 妥当である ☐ 妥当でない 捕獲については狩猟免許を持った者しか行えず、資材等の費用も掛かり、また広範囲での実施が必要である。その中で、有害捕獲の実施許可についての権限も市にあるため、市の関与は必要不可欠である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	☒ 向上余地がない ☐ 向上余地がある 令和3年度のイノシシ捕獲頭数は減少したが、原因が明確でないことから、今後の推移を見極めたい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	☒ 影響有 ☐ 影響無 イノシシがますます増加し、農作物被害が増大する。
有 効 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない ☐ 余地がある イノシシの捕獲という特殊な業務のため、他事業との連携は難しい。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある イノシシ被害は増大しており、また平成28年度より有害鳥獣対策室を設置し、更なる被害防止対策に努めている状況である。そのような中での事業費削減は難しい。また業務時間についても、最低限度の時間数で実施している。	
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
☒ 公正・公平である ☐ 公正・公平でない 鳥獣保護区など一部捕獲が法律で規制されている地域を除いて、市内全域で捕獲を実施しており、受益者負担は公平・公正である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇨	前年に比べ捕獲頭数が大幅に増えているが、被害金額は微減にとどまっている。県補助金を活用し侵入防止柵を整備した地区では、被害金額が減っているため、今後も継続的に県補助金を活用した広範囲での侵入防止柵の整備を実施することが重要である。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果	⑥																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☐ A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 ☐ B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐